

がくしゅうかだい(2年生)



【せいにかつか】

＜学習内容＞「えがおの ひみつ たんけんたい」

◆「えがおの ひみつ たんけんたい」（きょうかしよ 60～81^{ページ}）について、下にあるようなことをやってみよう。

（1）じぶんのすんでいるまちにあるおみせやしせつなどの中には、どんなものがあるって、どんな人がいるのかな？

※おうちの人と、お出かけした時や買いものに行ったときなどに、どんなようすかを目で見っておぼえておきましょう。おうちにかえってきたら、せいにかつかカードに、はっ見したことを書いてみよう。



※えがおのひみつがわかったぶんだけ、きょうかしよ 69 ページのまんぞくはしごに色をぬってみよう。

（2）きょうかしよ 70～73 ページをよんで、しらべたお店やしせつについて、はっ見したことをパンフレットや新聞、ポスターにしてまとめてみよう。

※もっと^し知りたいことが出てきたら、もう一度^{ど たんけん}探検に行ってみよう。

（3）きょうかしよ 74～77 ページをよんで、作ったパンフレットや新聞、^{しんぶん}ポスターを使っ^{つか}て、おうちの人につたえてみよう。

※おうちの人にしっかりつたえるために、どんなことに気をつけたらよいかな。お話のしかたなどをかんがえてみよう。

※はっぴょうがおわったら、かんそうをせいにかつかカードに書きしましょう。えがおのひみつがわかった分だけきょうかしよ 79 ページのまんぞくはしごに色をぬろう。

※教科書 124、125 ページに、はっぴょうの方ほうやまとめ方のヒントがあるよ。



<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- 生活科の課題は一か月毎ですので、長い期間をかけてゆったりと取り組んでください。
- ・「えがおの ひみつ たんけんたい」の学習では、実際に店や施設に入り、そこにあるもの、働く人の様子や思いに気付くことが大切です。「どんなものがあったか」、「働く人はどんなことをしているか」に注目できるよう関わると、より効果的です。また、施設を利用する際のマナーも確認できるとよいでしょう。施設に行くことが難しい場合は、自分の住んでいる地域の施設を思い出したり、インターネットで施設のホームページを閲覧したりするなどして学習することも考えられます。
 - ・本単元で学習した内容を、ポスターやパンフレットにまとめます。見た目の出来栄ではなく、何をどのように伝えるかを考えることを大切にしています。より詳しく調べたいことが出てきた場合には、自分の住んでいる地域の施設をお子さんと共に思い出したり、インターネットで施設のホームページを閲覧したりするなどの関わりをお願いします。
 - ・パンフレットやポスターを活用した発表を聞き、話し方や話す内容などでよかった点を大いにほめてください。また、「探検に行って初めて知ったことはなんですか」などと質問していただくと、探検によって地域に詳しくなったことを自覚し、自信をもつことにつながります。